

全日本インカレのベンチ入りスタッフの資格について

1、日本バレーボール協会コーチ制度について

2008年度から、全日本バレーボール大学男子・女子選手権大会（全日本インカレ：日本バレーボール協会主催）に参加するチームのベンチ入りスタッフ（監督・コーチ・トレーナー・マネージャー）に最低1名は①「日本体育協会公認資格を有する者」がいることが義務付けられました。ただし、大学の場合、バレーボールが専門でないベンチ入りスタッフがいるチームや、学生が監督を兼任しているといったチーム等、様々な状況のチームが混在しています。それらを含めた多くのチームが全日本インカレに参加することから、日本バレーボール協会から大学だけに与えられた特別措置によって、ベンチ入りスタッフを認められることが確認されています。

2、大学における特別措置について

大学における特別措置とは、もしチームに①の有資格者がいない場合でも②「全国大学バレーボール部員対象財団法人日本体育協会公認バレーボール指導員（専門科目）養成講習会で準指導員の資格を得た者」がチームに1名以上いれば、ベンチ入りスタッフに制約はかからないというものです（ただしその学生がプレーヤーであった場合は、例えば「コーチ兼任」のようにスタッフとしてもエントリーする必要があります）。いずれにしても①か②の資格を持つスタッフがいなければ、ベンチ入りスタッフに制約がかかることになります。

3、資格取得の方法とベンチ入りスタッフの制約について

①の取得方法については、各都道府県バレーボール協会の指導普及委員会に問い合わせてください。なお、チームの監督・コーチ・トレーナー・マネージャーが本年度に日本体育協会の資格を取得中の場合は、その時点で資格が取得できていなくても取得中の証明があればベンチ入りすることができます。

②の講習会は毎年8月上旬に3泊4日の日程で実施しています。今年度も東日本（明治学院大学）と西日本（大阪府立大学工業高等専門学校）の2会場で開催されました。この資格は、別に日本体育協会の共通教科を取得すれば、合わせて日本体育協会の公認資格を得られます。大学生がバレーボールの勉強をして、指導者の資格を取得していくことは、将来の日本バレー界にとっても極めて重要であると考えています。もし、現時点で①、②の有資格者がいないチームで本年度の全日本インカレに出場を予定している大学がありましたら、その旨を全日本学連に連絡してください。「部長と選手のみベンチ入り可」という形での出場となります。日本バレーボール協会指導普及委員会としては、将来的には日本バレーボール協会主催の全国大会に監督としてベンチ入りするからには、日本体育協会の資格を有することが最低条件という方向です。繰り返しになりますが、大学は特別措置を認められています。その点をよく理解いただき、全日本インカレ出場の全チームが通常のベンチスタッフでの大会参加ができますよう期待しています。

以上